

【屋外設置用】

組み合わせパターン

パワーコンディショナ
TPV-44M、TPV-44M1
TPV-44M-J4、TPV-44M1-J4
TPV-55M、TPV-55M1
TPV-55M-J4、TPV-55M1-J4



インテリジェントステーション (TPV-MU1P-SET)
カラー表示ユニット：TPV-MU1P-D
計測ユニット：TPV-MU1P-M



- * インテリジェントステーションは、余剰電力買取制度と全量買取制度に対応しています。余剰電力買取制度でご使用の場合は、パワーコンディショナの定格出力の合計が20kW以内の場合に表示が可能です。
- * パワーコンディショナは最大6台まで接続可能です。

作業の流れ

手順1 パワーコンディショナの接続・設定



手順2 パワーコンディショナ設定

裏面へ
カラー表示ユニットで①～③を行ってください。

指示
電気配線工事は、第1種電気工事士または第2種電気工事士の資格を有し、かつ(株)東芝の施工研修を受講し、修了証をお持ちの方またはその管理・監督の責任のもとで行ってください。お客様は接続・設定を行わないでください。

注意
正しく接続・設定しないと、正確な計測ができなくなります。

手順1 パワーコンディショナの接続・設定

CHECK! ①通信ケーブルの準備

- インテリジェントステーションに同梱のパワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブル(5m)…1本
- 【同梱】パワコン・計測ユニット間用屋内外通信ケーブル KP-CH-B8VG05S(5m)
- 別売のPCS間通信ケーブル(屋内外共用)(KP-CH-A4VG□□S)…パワーコンディショナの台数から1本差し引いた本数
- ※下記の【別売】PCS間通信ケーブル(屋内外共用)から必要な長さのケーブルを準備してください。
- 【別売】PCS間通信ケーブル(屋内外共用)

型式	ケーブル長
KP-CH-A4VG03S	3m
KP-CH-A4VG05S	5m
KP-CH-A4VG15S	15m
KP-CH-A4VG30S	30m
KP-CH-A4VG50S	50m

※インテリジェントステーションとパワーコンディショナはこの段階では接続しないでください。

CHECK! ②ユニットNo.の設定

パワーコンディショナのユニットNo.の初期値は「0」になってます。計測ユニットから近い順に、すべてのパワーコンディショナにユニットNo.を設定してください。施工時に行ってください。

ユニットNo.の設定
*設置台数に合わせて設定してください。

パワーコンディショナ	ユニットNo.	設定
1台目	0	設定不要
2台目	1	設定要0⇒1
3台目	2	設定要0⇒2
4台目	3	設定要0⇒3
5台目	4	設定要0⇒4
6台目	5	設定要0⇒5

注意 別項目の設定を変更しないでください。
RS485通信 WAIT 待ち時間を誤って変更しないでください。

注意 ユニットNo.の設定前に太陽光発電システムを起動させると、正確な発電量が計測できなくなります。

表示部	操作
	パワーコンディショナの運転スイッチをOFF、接続箱の開閉器をON、太陽光発電ブレーカをONにする。
	MODキーをUnitが表示されるまで12回押す。
	ENTキーを押すと初期値の0が表示される。
	設定したいユニットNo.が表示されるまでMODキーを繰り返し押す。 ※現在設定されている整定値以外は1秒周期で点滅表示をします。 ※設定を中止する場合はESCキーを押してください。
	設定したいユニットNo.が表示されたらENTキーを押す。 ※設定した整定値が約3秒高速点滅し、点灯に変化したら設定内容が確定。
	ESCキーを2回押し、表示をOFFにする。

誤って設定した時はESCキーを押し、始めから設定をやり直してください。

CHECK! ③終端抵抗の設定

注意 パワーコンディショナの型式によって、設定方法が異なりますので、パワーコンディショナの型式を確認してから設定してください。終端抵抗2はすべてのパワーコンディショナをONのまままで設定変更しないでください。

終端抵抗1、2スイッチともに出荷設定はONになっています。終端抵抗1を計測ユニットから接続が一番遠いパワーコンディショナをONのまま、その他をOFFに設定してください。

【例】3台接続の場合

計測ユニットから接続が一番遠いパワーコンディショナ

1台目 2台目 3台目

終端抵抗1 OFF(上側)に設定する
終端抵抗2 ON 出荷設定

各パワーコンディショナの終端抵抗1、2が正しく設定されたことを確認してください。

※インテリジェントステーションとパワーコンディショナはこの段階では接続しないでください。

CHECK! ④パワーコンディショナと計測ユニットの接続

注意 パワーコンディショナの型式によって、配線方法が異なりますので、パワーコンディショナの型式を確認してから配線してください。

パワーコンディショナのフロントカバー、計測ユニットのフロントカバーを開けた状態で、以下のとおりに通信ケーブルを接続してください。

計測ユニット パワーコンディショナ

本体正面から見て
左側 通信コネクタ3
中央 通信コネクタ2
右側 通信コネクタ1

※通信コネクタ3には接続しないでください。

【例】3台接続の場合

計測ユニット パワーコンディショナ

1台目 2台目 3台目

通信コネクタ2に接続 通信コネクタ1に接続

各パワーコンディショナの通信コネクタに通信ケーブルを正しく接続してください。コネクタの接触不良やケーブルに損傷がある場合、正常に通信できないことがあります。

手順2 パワーコンディショナ設定

カラー表示ユニット TPV-MU1P-D

カラー表示ユニットでパワーコンディショナ設定をします。



カラー表示ユニット
TPV-MU1P-D

初期設定時

初めて、カラー表示ユニットの電源をONにすると、「初期設定ナビ」画面が表示されます。「インテリジェントステーション(TPV-MU1P-SET)標準システム施工マニュアル」10.初期設定_初期設定前の準備を確認してから①へお進みください。

CHECK! ① 開始確認 / 種別・日時設定

1. 「初期設定」を選んでください。

2. [開始確認] 画面のメッセージを読み、準備ができていれば「開始」を選んでください。

3. 画面に従い、種別設定・日時設定を行ってください。

- 種別設定

「パワーコンディショナ台数」は、「マ」/「△」ボタンで、計測ユニットに接続しているパワーコンディショナの台数を、1～6(台)の範囲で選んでください。

- 日時設定

※初期設定完了後にパワーコンディショナを増設する場合、カラー表示ユニットの「メンテナンスメニュー」→システム情報設定→パワコン設定」を選び、②へお進みください。

CHECK! ② パワーコンディショナ設定

使用するパワーコンディショナを登録します(最大6台まで)。

1. 「検索」を選んでください。

計測ユニットに接続されているパワーコンディショナを、自動で検索します。検索中は、画面中央に「LOADING」が表示されます。

2. 各パワーコンディショナのユニットNo.と製造番号が表示されます。登録状態が「使用」になっているか、製造番号が正しいかを確認して「決定」を押してください。

CHECK! ③ 系統状態確認 / 主幹・外部発電電流センサ確認 / 分岐計測センサ設定

画面に従い、確認・設定を行ってください。詳しくは「インテリジェントステーション(TPV-MU1P-SET)詳細施工・保守マニュアル」初期設定の項目をご確認ください。

- 系統状態確認
- 主幹電流センサ確認
- 外部発電電流センサ確認
- 分岐計測センサ設定

CHECK! ④ 設定完了

ナビ画面にて、正しく電力量が表示されるかを確認してください。

実際の施工にあたっては、必ず「東芝住宅用太陽光発電システム電気工事説明書」「インテリジェントステーション(TPV-MU1P-SET)標準システム施工マニュアル」「インテリジェントステーション(TPV-MU1P-SET)詳細施工・保守マニュアル」をご確認ください。

東芝住宅用太陽光発電システム ご相談センター (受付時間) 9:00~17:00(祝日、年末年始を除く)

販売店様・施工店様他の窓口 **03-5352-7623** (通話料:有料)